

# JPIC NEWSLETTER

通巻 185 号

2017 年 2 月 28 日

## 東淀川区絵本読み聞かせ事業 「第4回 東淀川えほんまつり」開催！

去る2月12日に、大阪市東淀川区民ホールで「第4回 東淀川えほんまつり」が開催されました。これは、東淀川区から大阪府書店商業組合・JPICほか2団体が受託している「平成28年度 東淀川区絵本読み聞かせ事業」の一環として行われました。



各テーブルをまわり、あたたかい言葉をかける三浦さん

会場では、絵本作家の三浦太郎さんによる親子向けワークショップ「紙を切ったら何になる？」が行われ、親子120名が参加しました。参加者達は、1本の黒線が描かれた白画用紙の上に、10色もの色画用紙を切り貼りし、独創的な「小鳥」を創作。最後に全ての作品を並べて貼り出すと、東淀川区の電線に見立てた1本の線に並んでとまる、色とりどりの小鳥たちの姿が。作品は「とりかご」を模した持ち帰り用袋に入れられ、盛会のうちに終了いたしました。

その他、わらべうたを楽しむコーナーや寄贈絵本を区民の読みかせ活動に役立てる「絵本バンク」の展示スペースにも多くの人が集まり、会場のあちらこちらで賑わいがみられました。



わらべうたコーナーには多くの読みかせボランティアの姿も

## 作者と語ろう！ オーサービジット校外編 知念実希人さんを迎えて

去る2月12日、広島市・広島国際会議場にて、作者を招いて行う10代向け読書会「作者と語ろう！ オーサービジット校外編」（主催：朝日新聞社、JPIC 子どもゆめ基金助成活動）を開催いたしました。

今年度第3回目の開催となる今回は、作家で医師の知念実希人さんにお越しいただき、会場には26名の参加者が集いました。

作者が事前に課題本を設定し、その内容について語り合うこのシリーズ。今回は『優しい死神の飼い方』（光文社）を題材に、心に残った一文や場面、疑問点などについて、知念さんを囲みながら意見を交わしました。

会の後半では、作者からのサプライズ課題として、自分の人生の目標達成から逆算した年表を作成することに挑戦。参加者の発表を受け、知念さんは27歳から小説家を目指して努力を続けてきた経験を語りつつ、激励とアドバイスを送りました。



参加者からの質問に気さくに応じる知念さん

## 上野の森 親子フェスタ2017 開催

「上野の森 親子フェスタ」が今年も、5月3日～5日の3日間、上野公園にて開催されます。今年は講演会も増え、幅広い年齢の方々に楽しんでいただける内容となっております。ゴールデンウィークは、ぜひ上野公園に足をお運びください。

NEWSについてのお問合せや詳細資料ご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。

JPIC HPアドレス：<http://www.jplic.or.jp>

賛助会員様のイベント情報を発信します！

文責：中泉 淳 ([nakaizumi@jplic.or.jp](mailto:nakaizumi@jplic.or.jp))